

事務事業実績測定調査

R5調書番号 446

事務事業名称	学校図書館支援事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択の事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	学校図書館法、学習指導要領				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内小中学校に在籍する児童・生徒			
	サブターゲット	市内小中学校図書館を活用して児童・生徒の読書活動および学習活動の指導をする教職員			
	ターゲットが抱える課題	児童・生徒の読書離れが進んでおり、読書活動を推進して学力向上につなげていく必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	児童・生徒が身近に読書に親しむことが可能な学校図書館として十分に活用されていない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全小中学校に学校司書を配置して学校図書館の機能の充実および活用を促進させることで、児童・生徒の読書活動をより一層推進し、言語能力及び情報活用能力を育成する。このことにより、子どもたちが生涯にわたり学び生きる力を育む教育環境を提供する。				
事業概要	学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、学校教育部(教育指導課)の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援を行うとともに、市内小中学校の学校図書館における児童・生徒への読書環境の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援などの取り組みを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）			
		小学校図書館の利用が向上し、児童の読書活動が推進される。				全小学校に読書活動・学習活動の支援が広がる。				学校司書配置を小学校へ拡大する。			
指標設定	指標説明	市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数				枚方市立図書館の調べ学習等団体貸出を利用した小学校数				学校司書が配置された小学校数			
		単位冊				単位校				単位校			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 （見込み）	23	24	26	28	35	36	38	40	10	8	16	11
	実績	22	24	22	22	38	38	40	41	0	12	8	0
達成度		79%				103%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.97
再任用	0.75
任期付職員	0.40
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	28,733	21,835	13,349		
	会計年度任用職員	0	0	1,374		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	28,733	21,835	14,723		
歳入	物件費計	11,224	11,093	11,122	11,397	97.6%
	歳出計	39,957	32,928	25,845		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		11,224	11,093	11,122	11,397	

5. 総括的分析

総括的分析	・学校図書館における児童一人当たりの貸出冊数は昨年度と比べ0.18冊微減となったが、学校司書未配置校が20.55冊であったのに対し、配置校は23.60冊となり、学校司書配置の効果が表れている。 ・市立小学1年生をひらかた電子図書館に登録し、令和5年度も引き続き、全児童生徒が電子図書館を利用できるようにした。7月より、学校での利用に適した、利用者数に制限なく同時にアクセスできる「児童書読み放題パック」を440点追加した(利用可能合計640点)。児童生徒の電子書籍閲覧数は7月～3月の間、令和5年度は46,697点となり、令和4年度の30,439点と比べ1.53倍増となり、電子図書を合わせた読書量については増加したと考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	・学校司書25人(うち小中2校兼務8人、小学校2校兼務6人)と連携しながら、学校図書館整備の支援や学校図書館システムの管理・技術的支援、授業で活用するための資料提供等を引き続き行う。 ・学校教育部と連携し、子どもたちが義務教育9年間を通じて読書を楽しみ、学習に活かせることができるよう、学校司書の小中学校各校1人配置に向けて取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 475

事務事業名称	コンピュータシステム運営事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択の事業	区分	一般事務事業
事業期間	1996 (H8) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	貸出・返却にはじまる様々な図書館サービスをスムーズに行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	レファレンス(調査業務)をするために、窓口へ来るのに不便が生じている。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	システムを安定的に運用することで、図書館利用者がスムーズな利用ができ、市民からのレファレンスに対しても適切な対応ができていく状態。				
事業概要	図書館サービスを効率的効果的に提供するため、図書館コンピュータシステムを安定的に運用することを目的に、図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。 また、図書発注の作業のために既に導入しているRPAを範囲を広げて維持し、発注業務の一部を短縮することで、図書の納品を早めることができるほか、職員が選書業務等に時間を割り当てることができ、市民サービスの向上に繋がる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		図書館利用者が蔵書検索をはじめとするサービスをスムーズに受け ることができる。				図書館コンピュータシステムが安 定的に稼動する。				図書館コンピュータシステムの運 用に必要な保守点検や改修等 を行う。							
指標 設定	指標説明	図書館HPアクセス数				システムが安定的に稼働した日数				サーバ室日常点検(室温確認・ UPS点検)日数							
	単位		アクセス		単位		日		単位		日						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標 数 値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)		1,622,000	1,622,000	1,622,000	1,622,000	365	365	365	366	365	365	365	366		
		実績		1,227,758	1,468,970	670,265	1,496,780	365	365	349	366	358	359	358	356		
達成度		92%				100%				97%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.78
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,700	5,547	6,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,700	5,547	6,158		
歳入	物件費計	26,062	27,966	28,884	29,444	98.1%
	歳出計	32,762	33,513	35,042		
	国庫支出金	0	0	15,500	15,600	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	15,500	15,600	
一般財源（物件費に充当されるもの）		26,062	27,966	13,384	13,844	

5. 総括的分析

総括的分析	- 公共図書館システムを引き続き適切に運用した。 - 令和6年度開館予定の市駅前図書館に導入する端末や、学校図書館用端末更新に係る準備を行った。 - 図書館のWebサービスをLINEから利用できるようにする「LINE連携サービス」を開始した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	- システムトラブルには迅速に対応するなど、安定したシステム運営に努める。 - ICタグシステムの導入を進め、利用者の利便性向上に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 476

事務事業名称	各図書館及び分室施設維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1973(S48)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	安全性や衛生面の観点から施設の経年劣化等に対して、改善を施す必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	施設及び設備を適切に維持管理することで、利用者が安全かつ快適に図書館を利用できる状態。				
事業概要	図書館及び分室の利用者に快適な利用環境を提供する目的で、図書館および分室の清掃業務、空調機器等の維持管理および修繕等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			図書館及び分室が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明		修繕料、工請費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				修繕件数(保全計画に基づく)			
			単位				単位			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	10	7	7	7
	実績		91	90	94	47	7	3	6	5
達成度			47%				71%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.78
再任用	0.44
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,700	7,856	8,375		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,700	7,856	8,375		
歳入	物件費計	75,014	160,942	49,626	103,863	47.8%
	歳出計	81,714	168,798	58,001		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	78,700	34,300	43,000	
	その他	0	0	11,000	14,000	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	78,700	45,300	57,000	
一般財源（物件費に充当されるもの）		75,014	82,242	4,326	46,863	

5. 総括的分析

総括的分析	市有建築物保全計画に基づき、牧野生涯学習市民センター・図書館給水設備改修工事、津田生涯学習市民センター・図書館空調設備改修工事、津田生涯学習市民センター・図書館給水衛生設備改修工事、菅原生涯学習市民センター・図書館受変電設備更新工事、菅原生涯学習市民センター・図書館昇降機設備更新工事を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市有建築物保全計画に基づき、中央図書館屋上防水改修工事を予定している他、施設利用者の安心・安全を優先し、修繕等の対応を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 477

事務事業名称	自動車文庫運営事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	総合教育部		課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1973(S48)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の自動車文庫利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	最寄りの地域に図書館及び分室等が設置されておらず、図書館サービスを利用しにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自動車文庫の運営によって、地域間で生じる不便が解消し、市内全域できめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。				
事業概要	図書館及び分室を利用することが不便な地域の市民に対して、自動車文庫により図書館サービスを提供することを目的に、市内のステーションを巡回し、図書館資料の貸出・返却・予約受付の業務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				主に市内のステーション近辺の住民が、自動車文庫を利用する。				自動車文庫により市内のステーションを巡回して図書館サービスを提供する。				
指標設定	指標説明	自動車文庫の貸出冊数(個人・団体)				自動車文庫の延べ利用者数				巡回するステーション数				
	単位		冊		単位		人		単位		ステーション			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	44,469	44,469	44,469	44,469	9,878	9,878	9,878	9,878	22	22	22	22
		実績	26,067	44,459	53,306	48,490	7,809	14,972	16,361	16,381	27	27	27	27
達成度		109%				166%				123%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.78
再任用	0.71
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	1.59
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	17,165	14,267	13,560		
	会計年度任用職員	1,979	4,014	5,460		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	19,144	18,281	19,020		
	物件費計	277	149	261	340	76.8%
歳出計		19,421	18,430	19,281		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		277	149	261	340	

5. 総括的分析

総括的分析	（自動車文庫） 出動日数(2台合計):657日 貸出冊数(個人):46,931冊 予約受付件数(個人):7,279件 延べ利用者数:16,381人 市主催のイベント等へ参加し、認知度が上昇したことにより、予約受付、延べ利用者が増加し、当初の目標を上回ることができたと考える。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	・全域サービス実施のために、固定施設の利用が難しい地域や市民に図書館利用機会を提供する。 ・機動力を生かして図書館利用の便利さをPRする等の取り組みを実施しながら、最適な役割分担と配置の検討を進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 478

事務事業名称	障害者利用促進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択の事業	区分	一般事務事業
事業期間	1982(S57)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・視覚障害者等(視覚障害者、肢体不自由者、寝たきりの人、学習障害者等)・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	障害の有無によって利用できない図書館サービスが生じてしまう。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	録音・点字資料の貸出や、対面読書、おはなし会など利用者の障害に対応したサービスが提供されることで、利用者が障害の有無にかかわらず、図書館サービスが広く利用される状態。				
事業概要	障害のある利用者等の読書環境を整備するとともに、音訳協力者等の養成を行い、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸出、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者の養成を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		利用者の障害の有無にかかわらず、読書活動に親しむことにつながる。				障害を有する利用者が図書館に 来館し、対応したサービスを受ける ことができる。				録音・点字資料の貸出、製作、視 覚障害者への対面読書、聴覚障 害者向けおはなし会及び手話・字 幕付映像資料の制作等を行う。			
指標 設定	指標説明	障害を有する利用登録者数				点字・録音図書貸出タイトル数				点字・録音図書所蔵数			
		単位		人		単位		タイトル		単位		タイトル	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	118	118	118	118	5,200	5,200	5,200	5,200	6,800	6,800	6,800	6,800
	実績	124	122	125	123	3,455	2,771	2,889	2,708	6,874	6,744	6,779	6,823
達成度		104%				52%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		利用者の障害の有無にかかわらず、読書活動に親しむことにつながる。				視覚障害者等がデイジー再生機器を利用する				録音図書利用促進事業を実施する			
指標設定②	指標説明	障害を有する利用登録者数				視覚障害者等の利用人数				視覚障害者等の利用回数			
	単位		人		単位		人		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	118	118	118	118		14	14	14		14	14
	実績	124	122	125	123		10	14	11		10	14	11
達成度		104%				79%				79%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.37
再任用	0.00
任期付職員	0.47
会計年度任用職員	0.73
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	29,958	29,750	20,958		
	会計年度任用職員	1,658	1,832	2,507		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	31,616	31,582	23,465		
	物件費計	1,019	936	927	1,299	71.4%
歳出計		32,635	32,518	24,392		
歳入	国庫支出金	324	418	443	629	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	324	418	443	629	
一般財源（物件費に充当されるもの）		695	518	484	670	

5. 総括的分析

総括的分析	・視覚障害者等に対する録音資料の貸出(2,638タイトル)、点字資料の貸出(70冊)、対面読書(100回)を実施した。 ・点字、録音図書の製作・貸出や対面読書を実施した。新型コロナウイルスの影響を受ける中で、Zoomでの対面読書の遠隔実施も行った。 ・音訳協力者の養成のために、音訳協力者連絡会や音訳講習会(スキルアップ)を実施した。 ・「手話で楽しむおはなし会」「手話ブックトーク」「バリアフリー映画上映会」「読書バリアフリー講演会」を開催した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	これまで通り、読書バリアフリー法を踏まえ、障害者に対する読書支援を継続しサービスの充実に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 479

事務事業名称	図書館資料購入事務												
測定年度	2023(R5)年度				部	総合教育部				課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択の事業	区分	一般事務事業
事業期間	1973(S48)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民が求めている新しい図書・資料との出会いが困難となる。			
	ターゲットが抱える課題	正確で新しい情報を知る機会を求められている。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	蔵書バランスや市民のニーズ等を踏まえ、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入し、図書館サービスの充実が図られた状態。				
事業概要	基本的な蔵書構成を維持し、かつ市民の多様なニーズに応えるため、娯楽のための雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広くかつ効率的に資料を購入し、図書館サービスの充実を図ることを目的として、入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		新しい蔵書を求めて、市民が来館することで、継続的な読書活動が推進される。				購入資料は図書館資料として整備・配架され、市民の利用に供する。				雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広く資料を購入する。			
指標設定	指標説明	市民一人あたりの貸出冊数				配架された図書館資料数				図書館資料の購入冊数			
		単位 冊				単位 冊				単位 冊			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	8.70	8.70	9	10	36,000	36,000	56,000	56,000	36,000	36,000	56,000	56,000
	達成度	7	9.69	10	10	59,934	42,548	57,453	55,348	45,026	29,456	43,508	43,101
		100%				99%				77%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.48
再任用	1.80
任期付職員	2.40
会計年度任用職員	1.59
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	48,180	77,893	48,017		
	会計年度任用職員	0	4,014	5,460		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	48,180	81,907	53,477		
歳入	物件費計	58,017	77,976	80,116	80,000	100.1%
	歳出計	106,197	159,883	133,593		
	国庫支出金	0	1,550	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	1,000	1,000	1,000	1,000	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,946	3,668	3,679	3,679	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,946	6,218	4,679	4,679	
一般財源（物件費に充当されるもの）		54,071	71,758	75,437	75,321	

5. 総括的分析

総括的分析	- 蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視しながら情報の更新や資料の買い直しを強化し、資料の計画的な収集を実施した。 - 図書館の蔵書となる図書を児童書361,440冊、一般書872,796冊、合計1,234,236冊とした。 - 市駅前図書館開設に向けた蔵書として、中央図書館が「枚方市立図書館蔵書計画」に基づき、適正な選書を行い、購入作業を進めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	「枚方市立図書館蔵書計画」に基づき、選書した図書を計画的に購入する。 ICタグシステム導入後については、蔵書の利用状況などの分析を行い、選書の精度をあげる取り組みを進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 480

事務事業名称	図書館分館運営事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	中央図書館	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1979(S54)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	気軽に立ち寄れる最寄りの地域に中央図書館がない市民が、図書館サービスを利用しにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の拠点として他の図書館施設と連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けられる状態。				
事業概要	香里ヶ丘図書館の建替え、及び7分館への指定管理者制度の導入が完了したため、さらに効果的・効率的な図書館分館運営を行うことを目的とし、地域の図書館サービスの拠点として、中央図書館、図書館分室、また、他の分館と連携を図りながら、図書館資料の貸出や予約の受付、レファレンスサービス(利用者が調べたい内容に対し、適切な図書館資料や情報等を提供して調査支援を行うサービス)、各種行事等の充実した図書館サービスの提供を行っていく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				近隣住民が主に図書館分館を利用する。				地域拠点として図書館サービスを提供する。			
指標設定	指標説明	分館の貸出数				分館の来館者数合計				分館数			
		単位 冊				単位 人				単位 館			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	2,044,908	2,044,908	2,044,908	2,044,908	1,293,153	1,293,153	1,293,153	1,293,153	7	7	7	7
	実績	1,743,806	2,586,621	2,573,317	2,635,567	921,113	1,293,827	1,348,490	1,382,522	7	7	7	7
達成度		129%				107%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.78
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,700	6,093	6,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,700	6,093	6,158		
歳入	物件費計	359,930	368,149	419,729	424,174	99.0%
	歳出計	366,630	374,242	425,887		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	144	161	257	100	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		359,786	367,988	419,472	424,074	

5. 総括的分析

総括的分析	(分館合計) 年間開館日数:2,394日 貸出冊数:2,635,567冊 予約受付件数(個人):597,057件 延べ利用者数:1,355,616人 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となった。引き続き感染対策に努めながらも、イベント等を積極的に行ったことから、貸出冊数、予約受付件数、延べ利用者数が増加したと考えられる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	- 図書館サービスにおける地域の拠点として、図書館資料の貸出、レファレンスサービス等を引き続き提供する。 - 指定管理者による管理運営のため、モニタリング等を通じ、適正な管理・運営が行われているかの把握に努める。 - 充実した図書館サービスの拡充のため、令和6年度に市駅前図書館を開館する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 481

事務事業名称	図書館分室運営事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1973(S48)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	中央図書館や分館が気軽に立ち寄れる最寄りの地域にない市民は図書館サービスを利用しにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の拠点として他の図書館施設と連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。				
事業概要	分館の利用が困難だが比較的人口が集中している地域に設置し、中央図書館および分館と連携しながら、図書館資料の貸出や読書支援等の図書館サービスを提供することを目的として、図書館資料の貸出や予約の受付、各種行事等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				近隣住民が主に図書館分室を利用する。				地域拠点として図書館サービスを提供する。			
指標設定	指標説明	分室の貸出冊数				分室の来館者数合計				分室数			
	単位		冊		単位		人		単位		室		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	527,116	527,116	527,116	527,116	205,624	205,624	205,624	205,624	10	10	10
実績		392,051	447,137	453,723	469,840	116,730	132,681	135,887	138,740	7	7	7	7
達成度		89%				67%				70%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.78
再任用	0.34
任期付職員	0.50
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	81,566	13,220	10,262		
	会計年度任用職員	9,572	753	1,030		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	91,138	13,973	11,292		
	物件費計	3,038	3,044	2,859	2,969	96.3%
歳出計		94,176	17,017	14,151		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,038	3,044	2,859	2,969	

5. 総括的分析

総括的分析	(分室合計) ※市駅前サービススポットを含む 年間開館日数:1,592日 貸出冊数:469,840冊 予約リクエスト受付件数(個人):162,588件 延べ利用者数:249,843人 新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったこと、チラシのポスティングやのぼりなどで分室開館のPRなどを行ったことから、予約リクエスト受付件数や延べ利用者数が増加したと考えられる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	利用状況、施設状況、効率的な人員配置の検討を進め、効果的な図書館利用促進と市民の満足を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 482

事務事業名称	中央図書館運営事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	中央図書館	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職の利用者 ・その他図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内図書館・分室における図書館運営及び図書館サービスの統括が必要。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市立図書館の核として、他の図書館施設を統轄するとともに、連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。				
事業概要	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供することを目的として、幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				市民が中央図書館を利用する。				枚方市立図書館の核として幅広い図書館サービスを提供する。				
指標設定	指標説明	中央図書館の貸出冊数				中央図書館の来館者数				中央図書館での事業実施回数				
	単位		冊		単位		人		単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	892,503	892,503	892,503	892,503	491,092	491,092	491,092	491,092	17	41	41	41
		実績	499,053	764,594	739,100	722,554	236,394	351,482	343,270	386,856	21	145	184	175
達成度		81%				79%				427%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	8.78
再任用	4.21
任期付職員	8.99
会計年度任用職員	7.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	140,824	154,374	133,509		
	会計年度任用職員	15,804	18,165	24,039		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	156,628	172,539	157,548		
歳入	物件費計	22,838	25,176	67,987	27,006	251.7%
	歳出計	179,466	197,715	225,535		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	282	635	983	619	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	282	635	983	619	
一般財源（物件費に充当されるもの）		22,556	24,541	67,004	26,387	

5. 総括的分析

総括的分析	年間開館日数:293日 貸出冊数(個人):722,554冊 予約受付件数(個人):61,547件 延べ利用者数:303,908人 感染症対策対策を講じたうえで、積極的にイベントを実施したことで、来館者数や延べ利用者数について増加したと考えられる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き市内図書館ネットワークの拠点として図書館サービスを提供する。イベントなど、利用者の増加が見込めるような取り組みを検討・実施していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 483

事務事業名称	分館・分室巡回業務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・枚方市内在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	巡回がなくなると、市民の求める資料を最寄りの各図書館サービスポイントで受け取れなくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が希望する最寄りの各図書館サービスポイントで貸出・返却が可能になる。				
事業概要	各図書館・分室が所蔵している図書館資料について、他の図書館・分室で貸出・返却が行えるよう図書館資料の巡回運搬を実施し、市民の利便性の向上を図ることを目的として、各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		最寄りの各図書館サービスポイントで求める資料を借りることができる。				図書館や分室間での所蔵資料の相互貸借が可能となる。				図書館資料の巡回運搬を実施する。				
指標設定	指標説明	インターネットによる事前予約件数				図書館サービスポイント間の巡回回数 (分館巡回回数＋分室巡回回数)				巡回するサービスポイント数				
	単位		件	単位		回	単位		サービスポイント数					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	580,000	580,000	580,000	580,000	499	499	499	499	18	18	18	18
		実績	648,350	723,124	820,227	906,162	502	501	503	501	18	15	15	15
達成度		156%				100%				83%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.37
再任用	0.76
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,479	20,323	18,470		
	会計年度任用職員	0	502	343		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,479	20,825	18,813		
	物件費計	13,007	12,884	12,862	12,864	100.0%
歳出計		27,486	33,709	31,675		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		13,007	12,884	12,862	12,864	

5. 総括的分析

総括的分析	- 図書館業務に必要不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努めた。 - 中央図書館と各図書館分館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により計画的に実施した。 - 巡回ルートの見直しを行い、分室への巡回回数を増やし、より迅速に予約図書を利用者へ渡すことができるよう準備を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き図書館業務に必要不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 484

事務事業名称	子どもに本を届ける事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市基金条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内在住・在学の子ども			
	サブターゲット	寄附希望者			
	ターゲットが抱える課題	子どもたちにはより多くの本との出会いが必要。			
	ターゲットが抱える課題	寄附したくなる魅力の創出。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校・保育所(園)・幼稚園や図書館などを利用する子どもたちがよりたくさんの本と出会うことができる。				
事業概要	子どもがたくさんの本と出会うことができるように、基金を積み立て、その基金を使って絵本や児童書を購入する。以下の方法で基金を積み立てる。1.ふるさと寄附金による基金の積み立て。2.市民からいただいた寄贈図書のうち、図書館資料として活用しなかった図書については売却し、その売却益を基金に積み立てる。積み立てた基金で絵本や児童書を購入し、学校や保育所(園)、幼稚園、地域の子育て団体に届ける。また、購入した児童書を、授業での調べ学習や読み聞かせ、朝読書、朗読会等で活用する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		購入図書を学校や保育所、幼稚園等に届ける。				基金を活用して絵本や児童書を購入する。				ふるさと寄附金や売却益を基金に積み立てる。			
指標設定	指標説明	学校や保育所・幼稚園等への団体貸出冊数				基金による児童書購入冊数 (基金執行予定額÷1冊当たりの児童書購入平均額(令和3年度時点直近3年間の平均額:1,550円(税込み)))				基金積立額			
	単位		冊		単位		冊		単位		円		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	92,345	73,713	75,924	78,201	4,160	2,100	2,100	2,100	3,406,000	3,256,000	3,256,000
実績		47,836	53,600	59,453	66,251	2,639	1,028	948	1,666	3,448,444	3,265,253	9,631,398	11,822,917
達成度		85%				79%				363%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.97
再任用	0.81
任期付職員	0.50
会計年度任用職員	0.41
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,337	14,274	14,129		
	会計年度任用職員	0	251	1,408		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,337	14,525	15,537		
歳入	物件費計	6,265	12,587	16,269	18,076	90.0%
	歳出計	15,602	27,112	31,806		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	6,265	12,587	16,269	18,076	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	6,265	12,587	16,269	18,076	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	積立金額 11,822,917円 うち指定寄附金分 11,739,402円 うち古紙売却益分 83,358円 うち利子収入 157円
	積立金のうち4,500,000円を子どもに本を届ける事業へ充当し、子ども読書活動推進のための団体貸出等用の児童書として1,666冊購入した他、同時に複数人が閲覧できる児童書の電子書籍（読み放題パック）を440タイトル購入した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	・事業について、さらに広範囲かつ積極的にPRを行う。 ・学校など現場が求めている本の把握と、適切な蔵書を購入する。 ・電子図書館の利用の多い児童向けの電子書籍の充実を図る。

事務事業名称	電子図書館運営事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択の事業	区分	一般事務事業
事業期間	2021 (R3) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	-				
関係補助金名称	-			サンセット	-
関係附属機関名称	-				
事業対象	メインターゲット	図書館利用者、身体障害者や高齢者等の来館が難しい方 タブレットを貸与されている市内全児童・生徒 市内公共施設の利用者			
	サブターゲット	視覚障害者や学習障害者等			
	ターゲットが抱える課題	図書館に来館しないとサービスを受け取れない。			
	ターゲットが抱える課題	活字での読書が困難であることにより、情報にアクセスしにくい。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	・図書館がやむをえず休館した場合でも、図書館利用者が継続してサービスを受けられること。 ・来館が難しく、図書館を利用できていなかった方がサービスを受けられること。 ・視覚障害者等の活字での読書が困難な方に、アクセシブルな形態でのサービスを提供すること。				
事業概要	・電子図書館システムの導入により、コロナ禍以後の生活様式に対応した非来館型サービスを提供する。 ・読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。 ・市内全児童・生徒に貸与されたタブレットにより、電子書籍を活用した学校教育の支援を行うとともに、読書習慣の形成を図る。 ・令和3年度については、約6,000タイトルを所蔵予定だが、新型コロナウイルス感染症の第6波が近付く中で、コロナ禍における市民ニーズに対応するため、地方創生臨時交付金を活用し、追加で電子書籍約500タイトルを購入する。 ・令和5年度について、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、電子図書館におけるコンテンツのさらなる拡充を行うことで読書・学習機会の充実を図る。効果的に事業を実施するにあたり、市内図書館に電子図書館の利用や調べものをする際の活用に供する貸出用のタブレット型端末を配置する。 【電子図書館コンテンツ数の推移】 令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金より6,500タイトル 令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金より2,500タイトル 子どもに本を届ける基金より200タイトル 令和5年度 デジタル田園都市国家構想推進交付金より5,000タイトル				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		来館が難しい方でも電子書籍を借りることで図書館サービスを受けることができる。				電子書籍を実際に貸出し、非接触型・非来館型サービスを提供する。				電子図書館システムを導入し、電子書籍の提供を開始する。			
指標設定	指標説明	利用者満足度 電子書籍利用者へのwebアンケート				電子書籍貸出冊数				電子書籍の蔵書タイトル数			
	単位		%		単位		冊		単位		タイトル		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	—	80	80	80	—	6,500	7,000	52,500	—	6,500	7,000
実績		—	70	49	52	—	17,860	31,823	39,410	—	6,795	10,054	15,038
達成度		65%				75%				107%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.78
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,700	6,093	6,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,700	6,093	6,158		
歳入	物件費計	27,302	16,554	32,057	32,256	99.4%
	歳出計	34,002	22,647	38,215		
	国庫支出金	0	0	15,500	15,600	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	15,500	15,600	
一般財源（物件費に充当されるもの）		27,302	16,554	16,557	16,656	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、いつでも利用できる電子図書館を導入したが、アンケート調査において、「やや不満」「不満」との回答理由として、「読みたい本がない」との回答が75%を占め、令和4年度と比べて微減した。令和5年度にはデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、蔵書の積み上げを行ったが、中核市水準の19,000冊には及んでおらず、蔵書の充実が課題である。また、「電子図書館を知らない」との回答が49%と、令和4年度と比べると微減したものの半数近くを占めており、認知度を高める取り組みも引き続き課題である。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	施設型図書館に来館しなくても読書や調べものなどに活用できる電子図書館に対するニーズが高まることが予想されるため、それに対応できるよう交付金を活用するなどし、電子書籍の追加購入や、電子図書館の周知を図りながら、蔵書の充実を図る。また、小学生世代の利用が多いことから、アクセス人数の制限のない児童書の「読み放題パック」を継続購入するなどし、電子図書館の利用促進に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 906

事務事業名称	図書館運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	中央図書館	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	1973(S48)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	図書館業務に携わる職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	図書館業務を適正かつ効率的に執行し、図書館サービスの向上を図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	・適正かつ効率的な図書館所管事務の執行 ・図書館サービスの向上				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)				目標				目標			
		実績				実績				実績			
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.88
再任用	0.38
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,538	8,385	8,862		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,538	8,385	8,862		
歳入	物件費計	2,061	4,013	2,060	2,721	75.7%
	歳出計	9,599	12,398	10,922		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	2,061	4,013	2,060	2,721	

5. 総括的分析

総括的分析	図書館及び分室の運営管理事務等を適切に実施した。
-------	--------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き効果的・効率的な事務執行に努める。